

1 試してみる

テスト数式

$$120 + 200 = 320 \quad (1)$$

式 1 は,,,

2 何をやっているか

式を書いてみる。例えば

$$20 + 30 + 40 = 90 \quad (2)$$

みたいな。yatex の `ref` は、わざわざ自分で `label` をつけなくても、`C_c s` の `section` 型補完で `ref` と打つと、それっぽいところをいくつかピックアップしてくれるという素晴らしい機能を持っている。<https://www.yatex.org/qanda.html> に、

・RefTeX は使えますか？

使っている人はいるみたいですから使えるんじゃないでしょうか。でもですね、野鳥の `\ref` 補完があれば、RefTeX なんぞ要らないと思いますよ。これからは `\label{}` はいちいち自分では作らずにいきなり `[prefix] s` で `\ref` を打ち込みましょう。勝手にラベルを打てそうところを探して勝手にラベルを打ってその名前を `\ref` に入れてくれます。 `\ref` 補完は `\label{}` と `\ref{}` 両方同時に補完入力します。

と書いてある。

実際にセクション型補完で `\ref` と打ってみると、となって、適当に RET で選択することができ

2019-11-12 15.15.29.png

る。ちなみに `eqref` でも可能であるのが嬉しい。RET を押すと、となって、`label` の名前も自分で

2019-11-12 15.18.05.png

打つことができる。デフォルトは時間になっている。

式 (2) 的な感じ。